

平成28年 第2回 議会定例会

一 般 質 問

1. 8番 藤村 勉
2. 3番 永瀬 洋子
3. 7番 軍司 俊紀
4. 9番 野田 泰博
5. 6番 海老原作一

印西地区環境整備事業組合議会

議席8番 藤村 勉 議員

【質問1】次期中間処理施設整備の状況及び今後の展開について

次期施設整備については、将来の構成市町の財政にとって大きな影響を与える事業です。特に、財政基盤の弱い我が栄町における影響を大変心配しているところです。そこで、以下の項目についてお伺いします。

- 1 総事業費（用地買収費・施設建設費・地元対策費）の見込みと前回計画から建設予定地を変えたことによる評価は。
（事業費だけでなく、現施設の長寿命化などを含めた中での評価はいかがか）
- 2 地元対策事業の考え方は
 - （1）基本的な考え方はどうか。また、整備事業費に対する地元対策事業費の割合を考えているのか。
 - （2）地元対策事業のうち、印西市で行うことにより、補助対象となるものがあるが、どう考えるか。
 - （3）地元対策事業の将来負担については、印西市の地元施設の位置付けから、白井市、栄町の負担はほとんどないものと考えられるがどうか。
- 3 現在の印西温水センターについて
過去の議会でも問われているが、今後どうするのか。印西市の施設となるのか。構成市町の将来負担の面からも組合と印西市の考えを明確にすべきと思うがどうか。

議席3番 永瀬 洋子 議員

【質問1】次期中間処理施設整備事業について

このことにつきましては、本年3月に「施設整備検討委員会」と「地域振興策検討委員会」から答申書が提出されました。

その後、組合としては、どのように対応されているのですか。

また、今後のスケジュールはどのようになりますか。

【質問2】基幹的設備改良工事について

今年度から実質的に工事が始まりましたが、工程表等についてお伺いします。

【質問3】4月から始まったスプレー缶の広報について

もっとわかりやすく広報をすることが必要だったと思いますが、広報は十分できていたでしょうか。

議席7番 軍司 俊紀 議員

【質問1】次期中間処理施設整備事業について

印西地区環境整備事業組合では、用地検討委員会からの答申を受け、建設候補地選定会議（管理者・副管理者会議）による現地踏査及び協議を経て『吉田地区』を建設候補地として決定し、現在に至っています。

- (1) 吉田地区との協議はどのような状況か。
- (2) 隣接する松崎地区とは協議されているのか。

【質問2】平成28年度は印西斎場が竣工してから10年にあたります。

この10年を振り返り、平岡自然公園事業を質問します。

- (1) 「印西火葬場」の利用状況は当初見込みと比較し、どのような状況か。
- (2) 「印西霊園」の墓所受付は第3区まで完了したが、当初見込みと今後を問う。
- (3) 「平岡自然の家」の利用状況をどのようにとらえているのか。

【質問3】一昨年度（平成27年2月）から使用済小型家電の拠点ボックス回収が始まっているが、事業実施の進捗について質問します。

- (1) 認定事業者とはどのような契約を行っているのか。
- (2) 構成自治体と十分な意思の疎通を図り、実施しているのか。
- (3) 住民への周知は充分か。

議席9番 野田 泰博 議員

【質問1】 3市町のごみ減量化に取り組む姿勢を印西地区環境整備事業組合では現状の減量化をどのように評価しているのか。

【質問2】 印西地区環境整備事業組合における次期設備の規模についてご質問します。
ごみ減量化推進を3市町で取り組んでいます。3市町の取り組みは、各市町によって違います。計画人口も違うし、家庭系ごみ量、事業系ごみ量にも違いが生じています。特に家庭系ごみは各市町の取り組み方で大きく違った結果になっています。印西地区環境整備事業組合では何年度のごみ実績数値を基本にして焼却設備規模案を決定したのですか。

【質問3】 ごみ減量化を推進して、印西地区環境整備事業組合が計画する減量化以上にごみ減量を達成した場合は、その減量努力を評価するような負担割合をお考えですか。

【質問4】 現在の各市町のごみ減量化度合いはどのような具合になっていますか。
実績数値でおしめしてください。その数値から見て各市町の目標は達成できるとお考えですか？

【質問5】 実績数値を重視するのか、目標数値を重視するのか、どのような考え方をお持ちですか。

【質問6】 ごみ減量化を進めるメリットをどのようにお考えですか。ごみ減量化は次期中間処理施設整備計画にどのように反映されるでしょうか。

【質問7】 ごみ減量化を重視して次期中間処理施設の規模を決定することはお考えですか？

【質問8】 ごみ減量化はCO2削減を推進するという地球規模で捉えていくという政策でもあります。そのような考えを次期中間処理施設の規模を判断する視点で進めて欲しいのですが、いかがお考えですか。

議席6番 海老原 作一 議員

【質問1】次期中間処理施設整備事業地域振興策検討委員会（以下、検討委員会という）の答申受理後の周辺住民との協議について、印西地区環境整備事業組合（以下、組合という）は周辺住民との協議に入っているが、推進状況について以下の質問をいたします。

- （1）これまで実際に行われた周辺住民との協議内容について
- （2）組合と周辺住民の協議の期間をどのように考えているのか
- （3）周辺住民と協議した後、合意はそれぞれの地区とするのか